

錢座防空壕群の保存・活用を求める陳情書

2018年6月12日

長崎市議会議長  
五輪清隆様

陳情人

住所 長崎市桜町9-6

長崎地区労働組合会議内

団体名 「錢座防空壕群を保存する連絡会」

共同代表 中村住代(中村) 月川秀文(月川)

連絡先 電話 [REDACTED]

議会事務局議事調査課



## 銭座防空壕群の保存・活用を求める陳情

### 1 陳情の趣旨

私達は、九州新幹線トンネル工事現場で確認された15ヶ所の防空壕群の保存・活用を求めて、この間長崎市及び九州新幹線建設局に対して要望書を提出する等活動してきました。しかしいずれも何ら誠意ある回答はありません。長崎市においては被爆都市の平和行政への高い志やプライド(矜持)のかけらもない姿勢に終始し、失望を禁じえません。私達が話し合いを持っている間でさえ工事は進み、今では市道付け替え工事のために、いくつかの防空壕は破壊されました。しかし、まだ残っている防空壕も確認されています。原爆被爆から73年が経過しようとする今日、戦争体験者や被爆者も高齢化し多くの方々は、戦争を憎み、核兵器の廃絶を願いながら亡くなっています。「歴史の生き証人」として子ども達の平和学習の貴重な教材として残す価値があります。長崎市が編纂した「長崎原爆戦災誌」の記述は、銭座地域の当時の社会的状況を示唆するものであり、保存・活用の根拠となる一級の資料です。どうか後世に禍根を残さないためにも、出来る限りの保存・活用していただきたく陳情いたします。

### 2 陳情項目

- ①現地説明会の開催
- ②長崎市原爆被災資料審議会の開催
- ③当該地に(仮称)説明板の設置